

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要		平成3年		根拠法令・例規等	備前市歴史民俗資料館設置条例
事業開始年度					
総合計画	大項目	基本目標	03	地域と文化と人が輝くまちづくり	
	中項目	基本施策	01	地域と文化の輝くまちづくり	
	小項目	施策	01	文化芸術の振興	
事務事業名			02	歴史民俗資料館管理運営事業	
				このシート作成に要した時間	5.0 時間

事業の目的		
対象 (誰・何に対して)	備前市の歴史・文化など興味のある人すべて。	
目的 (何のために)	郷土に関する資料の収集・調査・保存を行うと同時に、展示によって郷土の歴史や文化についての理解や文化財への認識を高める。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたのか)	備前市の歴史等についてわかりやすい説明や展示を行うことで来館者が増え、「備前市の歴史・文化」の情報発信の拠点となるようにしたい。	

事業の実績			優先度
細事業名	事業の説明	優先度	
歴史民俗資料館管理運営事業	企画展、特集展示、ワークショップ等で「備前市の歴史・文化」について情報発信を行うとともに、資料館の適正な運営管理を行う。		

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
事業費	直接事業費		8,982	9,049	12,651	
	必要人員(人件費)	千円	0.11人	0.07人	0.04人	
	事業費計		9,752	9,545	13,019	
決算額	国県支出金				3,796	
	受益者負担					
	繰入金	千円				
	その他()					
一般財源		9,752	9,545	9,223		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名			単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	結果指標量	事業	2,561	2,372	2,748	
	対前年比	%	-	92.6%	115.9%	
	活動コスト	円	9,752,000	9,545,000	13,019,000	
単位当たりコスト			3,808	4,024	4,738	

事業の成果		年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
年間入館者数	成果指標名	目標値(A)	2600	2600	2600	2800
		実績値(B)	2561	2373	2748	到達目標値
		達成率(B/A)	98.50%	91.27%	105.69%	2600
成果指標設定の考え方・式や説明						
多くの方々に来館してもらい、郷土の歴史や文化に触れる機会や情報を提供していくため、年間入館者数を設定した。						

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> C
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A-E> B	

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・廃止
説明	緊急雇用創出事業により平成21年度から実施している「歴史資料データベース化事業」が22年度完了する。このデータベースを使い、より多くの方々に備前市の歴史や文化にふれる機会を提供する。コストの削減は限界に来ているので、受益者負担率を見直す必要がある。					

総合評価		評価区分 <A-E>
「備前市の歴史・文化」に関する情報発信をし、地域文化と人が輝くまちづくりの一助となるよう企画展・ワークショップ・特集展示を実施してきている。管理運営面でのコスト削減は限界なので受益者負担を求めることで効率性を高める必要がある。		C

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・廃止
取組目標	地域文化と人が輝くための情報発信拠点としての機能は十分果たしていると考え、昭和26年竣工の建物を平成3年に改修して使用しているため、施設の老朽化、耐震化が未実施など、貴重な文化財を保管する施設としては限界にきている。今後は平成23年度から計画している「備前市歴史文化構想」の策定作業の中で、文化施設のあり方を考えていく必要がある。					

事業の目的、対象、内容を考えてながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項
事業の目的やその効性の値目標を行っている成果指標